

**製品名: TRAF2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81704**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	55.8kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TRAF2
別名	TRAP; TRAP3; MGC:45012
遺伝子 ID	7186.0
SwissProt ID	Q12933
免疫原	大腸菌で発現したヒト TRAF2 (AA: 39-188) の精製された組み換え断片。

**背景**

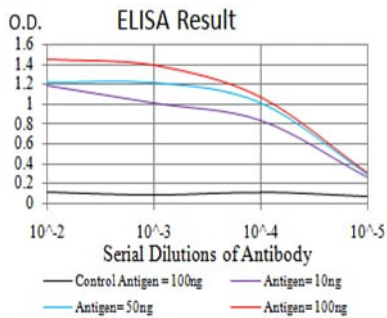
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF 受容体関連因子 (TRAF) タンパク質ファミリーのメンバーです。TRAF タンパク質は、TNF 受容体スーパーファミリーのメンバーと会合し、シグナル伝達を媒介します。このタンパク質は TNF 受容体と直接相互

作用し、TRAF1 とヘテロ二量体複合体を形成します。このタンパク質は、TNF- $\alpha$  を介した MAPK8/JNK および NF- $\kappa$ B の活性化に必須です。このタンパク質と TRAF1 によって形成されるタンパク質複合体は、アポトーシス抑制タンパク質 (IAP) と相互作用し、TNF 受容体からの抗アポトーシスシグナルの媒介として機能します。このタンパク質は、TNF 受容体関連アポトーシスシグナル伝達因子である TRADD と相互作用し、IAP をリクルートしてカスパーゼ活性化を直接阻害します。ユビキチンリガーゼ活性を有するアポトーシス阻害因子 BIRC2/c-IAP1 は、このタンパク質のピキチン化を脱離させ、分解を誘導することで、TNF 誘導性アポトーシスを増強します。この遺伝子には複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションがみつっていますが、生物学的妥当性が確認されている転写バリエーションは1つだけです。

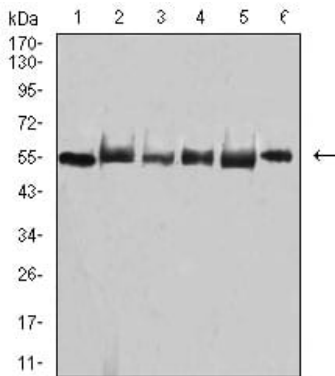
## 研究分野

アポトーシス、MAPK シグナル伝達経路

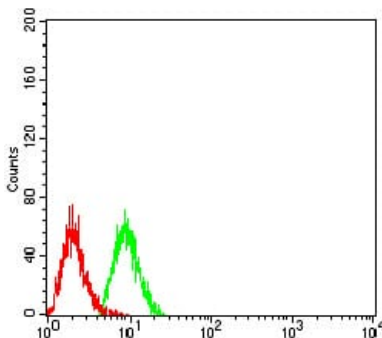
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



MCF-7 (1)、A431 (2)、Hela (3)、Jurkat (4)、HEK293 (5)、および Ramos (6)細胞溶解物に対する TRAF2 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



TRAF2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。